

成績優秀者表彰式を挙

校友会では、会発足以来初となる「成績優秀者表彰式」を2月16日、大学の迎賓特別ルームで行った。表彰式は、今年度に学業や部活動等で活躍した団体や学生に贈られた。また五輪やボクシング日本チャンピオンにも特別表彰が贈呈された。式では、学業表彰「行政書士2名」「宅地建物取引士1名」、課外活動表彰では、女子硬式野球部、ウエイトリフティング部、硬式野球部など1団体と9名、前述の2名に高井勝弘会長から表彰状とお祝金が贈られた。

高井会長からは、「初の表彰式に輝かしい成績を残した多くの皆さんをお祝いできることに大きな喜びをおぼえます。これを機にさらなる高みを目指し活躍することを願っています」と、受賞者に対してお祝いのメッセージが送られました。また、柏木俊彦学長からも祝辞で表彰者を敬いながら、高井会長にお礼のあいさつがあり、受賞者を代表して女子硬式野球部副主将の生井美桜さんがお礼と今後の決意表明の謝辞を述べました。

表彰式終了後に写真撮影を行い、高井会長と受賞者が談笑するなど和やかな雰囲気の中、表彰式は終了した。

更なるご活躍を期待します



校友会会長 高井 勝弘
新型コロナウイルスの暗いニュースが続く中、校友会や母校では明るいニュースがありました。

同窓生からは、昨年行われた東京トリフティング女子59kg級で銅メダルを獲得しました。また、ボクシングでは、宇津木秀さんが日本ライト級王座決定戦に勝利し、第63代日本ライト級チャンピオンになるなど、輝かしい功績をあげられました。

母校では、加須市周辺で行われた聖火リレーのボランティアに参加したり、武蔵野銀行や加須市などと共同で進めた「夜空に輝くこのぼり」、学業では、在学中に資格試験にチャレンジをし、行政書士や宅地建物取引士に合格、部活動では、女子硬式野球部が全国大会で準優勝、読売ジャイアンツ女子チーム入団、ウエイトリフティングで全国大会にて6名入賞、硬式野球の個人タイトルで、関甲新一部リーグにおいてベストナインに2名が選出されるなど様々な活躍を見せてくれました。

校友会では、一人でも多くの方が活躍できるように支援をしたと考えておりますので、今後とも皆様からのご協力をお願い申し上げます。



キャンパス

平成国際大学 学長 柏木 俊彦



研究棟、講義棟、図書館、茶室、そして野球場、テニスコート、サッカー場を見ながら本学のキャンパスの外周・内周を一周するのは楽しいことである。キャンパスに立つて、四季折々の木々の姿や池、遠く西に富士山、秩父山脈、東に筑波山、北の男体山、赤城山、榛名山と見える山々を眺めるのは、自然の中にいる心地よさがある。また、空を見上げて、雲の形や、流れる雲を追うのも気持ちの良いことである。空が遠く、陽を受けて黄葉が散る秋は素晴らしい。夜半には虫の音も聞こえるのもよい。雨の日は雨の音が自然に溶けこみ気持ちが落ち着く。キャンパスに一人で居る時間は、詩を書く才はなくても気分だけは詩人になれる。本学のキャンパスは、俗塵に交じることなく、考えるのにふさわしい、本を読むのにふさわしい、スポーツをするのにふさわしい、その時の気分になるのにふさわしい環境です。同窓生の皆さん、時には、本学のキャンパスでの日々を思い出してください。

人生百年時代の大学の役割

校友会顧問 法学部教授 浅野 和生



ある海外の研究によると、2007年に日本で生まれた子供の半数が107歳より長く生きるといふことです。まさに人生100年時代です。そうなると、大学は、学生時代の出会いから107歳まで85年余り付き合う仲間、あるいは50年に及ぶ師弟関係を作る場ということになります。社会人生活も長いので、人生の半ばでけじめをつけて、もう一度大学で学んで残りの新たな人生を創ろうとする人々が多くなるでしょう。リカレント教育が拡大、定着すれば大学は、さまざまな年齢、さまざまな職歴、生活歴をもつ人々がともに学ぶ場になります。高校新卒が大半を占める今の大学とはかなり違ってくるかもしれません。すると校友会にも、多様な卒業生が入ってくるようになります。50年後の校友会をこの目で見ることはできなそうですが、多様性は活力の源ですから、「人生百年時代」の平成国際大学、校友会が、健康長寿社会日本において、社会の活力の源泉となっていることに期待しています。